

文化庁「日本博」企画委員会（第5回）議事要旨

【日時】

令和元年11月11日（月）10：30～12：00

【場所】

文部科学省 3F2 特別会議室

【委員出席者】

織田紘二委員，河村潤子委員，熊倉功夫委員，河野俊嗣委員，コシノジュンコ委員，小松大秀委員，島谷弘幸委員，高階秀爾委員

【文化庁】

宮田長官，中岡次長，今里次長，杉浦審議官，坪田参事官，三木参事官，山田新文化芸術創造活動推進室長

事務局から資料に基づき進捗状況の説明。

その後，各委員等による意見交換が行われた。主な発言は以下の通り。

- 「浜離宮大江戸文化芸術祭2019」はとても良かった。東京にも素晴らしい庭園があるということは知られていても，実際にはなかなか足を運んでももらえない。今回のプロジェクトをきっかけに改めて庭園の素晴らしさを知ってもらえたと思う。
- 地元にあってもなかなか評価されていない場所やものに光を当てるのは，日本博にとっても良いことだと思う。
- 外国人に対して日本博が広く周知されているかという点，まだまだ行き渡っていないという現状がある。
- 年明けに，東京国立博物館で日本博の小さなブースを作ってチラシを配布したりするなどして周知をしてはどうか。外国人に対してしっかりと情報発信をしていかなければいけない。
- 海外の視点も大事である。そのためには外から光を当てることも大切である。
- 我々が当たり前と思っていることが実は貴重なものだったりする。
- 日本博という面白いことをやっているということが海外で伝われば，日本国内にもそれが伝わるのではないかと思う。

- 日本博の審査基準で「インバウンドの誘客」の視点があるが、これをもっと幅広く、外国人だけでなく日本人にも当てはめて良いと思う。
 - 日本博にはコアとなるような事業が必要である。キャッチフレーズやオープニングセレモニーなどが国民に伝わってくると、コンセプトが全体に伝わるのではないか。
 - 広報物は、見てすぐ楽しいということが分からなければいけない。その分野について詳しい人だけでなく、詳しくない人にも分かってもらえるということが大事である。
 - 日本博とは何だろうかということを広報することも大事であるが、実際の中身を知らせていくことも大事である。
 - オリパラがスポーツだけでなく文化の祭典でもあるということが日本人にも分かりやすく伝われば良いと思う。
 - 日本博で何を残すのか。レガシーという言葉は便利な言葉ではあるが、何を残したいのかということをお我々がきちんと把握して、もう少し精査した形で広報をしたほうが良いと思う。
 - ある自治体で温泉関連の企画が出ていた。温泉はどこにでもあるが、日本の大切な文化である。そのようなものも含めて日本博をきっかけに各自治体が知恵を出してくる。そういう機会にぜひとも日本博がなしてほしい。
 - 日本博について、申請書を書いた人たちそれぞれが文化遺産なのではないかと思う。一生懸命書いていることが伝わってくる。
-
- 日本博で「日本らしさ」というものをどのように文化的に表現できるかを期待している。
 - 日本の文化はそれぞれ個別の特色もあるが、最終的には全部一つに繋がっている。そういう点で地続きになっている。
 - どこまでを文化というのかという点が難しい。大事なことはやはりコンセプトを明確に伝えていくことである。
 - 「日本人と自然」という総合テーマは、日本人のアイデンティティを示すという点では非常に良かったと思う。

(事務局より)

- ICOMの時に日本博ブースを設置したが、とても良かったと思う。あのようなブースは大事である。
- 日本博を多くの日本人に知ってもらうためには、戦略的なプロモーションが必要である。
- 色々な事業が開催され写真や動画が集まってきたので、日本博のプロモー

ションをやりやすくなると思う。

○日本博に協力してくださる文化人の方と連携して広報していきたいと思う。

○スポーツをすると汗をかくので達成感があるが、文化は達成感というものが難しい。参加をしていただく必要がある。参加の中には「食べておいしい」ということもあると思う。それによって参加したいという気持ちになる。

○先日横浜で行われた事業へ視察に行った。日曜の夜だったが、若い人や外国人の方が結構いた。ラグビーの余韻があって欧米の富裕層が長期間にわたって日本に滞在する機会を狙って、日本博としてもっと仕掛けられたのではないかというところもある。

○文化プロジェクトは、本来であれば準備に2年、3年と時間がかかるものである。これから日本博として素晴らしいものが増えていくのではないかと考えている。発信の方法としては、インバウンドということを強く意識しなくてはいけない。

○地域文化を振興していくという観点も大切に日本博に取り組んでいきたい。

○会議あるなしに関わらず、日本博について意見があったら事務局に伝えていただきたい。

(以上)